

ダミーグリッド・ピットエリア

- ① 公式練習およびタイムトライアルは、ダミーグリッドより出走とします。(ピットロードからの進入は不可)
- ② 予選・決勝ヒートは、フォーメーションラップ開始 5 分前までにダミーグリッドへ入場すること。ゲートクローズ指定時間が経過した後は入場することができません。
- ③ 予選・決勝ヒートは、ホームストレートより出走とします。
- ④ 予選・決勝ヒートにおけるフロントカウルの装着に関しては、ダミーグリッドで装着することとし、装着検査を受けること。
- ⑤ ダミーグリッドへは工具の持ち込みは一切認めない。
- ⑥ コントロールタワー前、及び最終コーナー側のプラットフォームは、レース中立入禁止とする。

タイムトライアル

ドライバーはタイムトライアルとして設定された時間内(7 分間)であれば任意に出走し、時間内であればコース上で停止した場合も再トライアルすることが出来る。但しピットに戻った場合は、再トライすることは出来ない。

スタート進行

- ① フォーメーションラップ前に、約 1 周のウォームアップ走行を行います。
- ② スタート時刻の 3 分前合図で、ピットクルーを除く関係者は退去してください。
- ③ スタート時刻の 1 分前合図で、ピットクルーは退去、ドライバーはエンジンを始動できスタートに入ります。本コース上において先頭車両が 4 コーナー通過時までにはエンジンのかからない車両は、ピットエリアからのスタートとする。
- ④ ウォームアップ走行中、およびフォーメーションラップ中に隊列が 6 コーナーに差しかけた時点で、ピットマーシャルがピットアウトを制止する。その時スタート合図がなされた場合は、ピットスタートはできない。
- ⑤ 隊列は、スタートライン 25m 手前に引かれたイエローラインを越えるまで加速してはなりません。
- ⑥ スタートの合図が出るまでは、9 コーナーからホームストレート上にある白線の内側を走行すること。スタートの合図が出される前に白線から出た場合、警告もしくは着順から 5 位以下(5 つ下)の順位とする。
- ⑦ フロントロウに並んだドライバーはローリング中、後続のドライバーが追い付けないようなスピードでローリングをしないように注意すること。特に 4 コーナーを通過してからは、隊列を整えるよう配慮すること。
フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱した場合、当該ヒート結果に 10 秒加算となる。
- ⑧ 隊列復帰禁止区間は、8 コーナー手前に設置されたパイロン及び赤ラインからスタートラインまでとする。ウォームアップ走行では隊列復帰禁止区間は適応されない。
- ⑨ スタートはメインストレート右側のシグナル(灯火信号)で行う。
- ⑩ フォーメーションが整いイエローライン前に加速していないと判断した場合、赤信号を消灯して、スタートの合図を行う。フォーメーションとイエローライン前での加速に問題がある場合、フォーメーションラップがさらに 1 周行われることを合図するために赤信号の灯火を続ける。(消灯しない)
- ⑪ フォーメーションラップ中に大きく遅れたと判断されたドライバーには、白地に赤のバツテンのボード表示が 3 番ポストで出され、出されたドライバー及びフォーメーションラップ中にピットインしたドライバー、そして周回遅れのドライバーは最後尾につかなければならない。
- ⑫ フォーメーションラップ中の適度なタイヤヒートは認めるが、8 コーナー手前の赤ラインまでとする。赤ラインからのタイヤヒートはペナルティの対象となる。
- ⑬ ダミーグリッドからの発進補助は、1 コーナー緑のパイロンまでとする。パイロンまでに停止した場合、戻して再始動できる。コースからの発進補助は 1 コーナー手前、赤いパイロンまでとする。パイロンを過ぎて停止した場合、補助は受けられない。(図①)

信号旗

一部の信号旗はデジタルフラッグで提示する。ポスト位置詳細は図①を参照すること。

提示する場所	提示する信号旗
コントロールライン(メイン)	チェッカー・黄・赤・青・緑(デジタルフラッグ)、オレンジボール、黒、青×赤旗
1 番ポスト	黄・赤・青・緑(デジタルフラッグ)
2 番ポスト	黄・赤・青・緑(デジタルフラッグ)
3 番ポスト	黄・赤・青・緑(デジタルフラッグ)、白黒、ミススタート旗、白地に赤バツテンのボード
4 番ポスト	黄・赤・青・緑(デジタルフラッグ)
5 番ポスト	黄・赤・青・緑(デジタルフラッグ)

① 競技を中断する必要があると見なされた場合、すべてのポストで赤旗を提示する。赤旗が提示された場合は、直ちにレースを中止し徐行すること。全ての車両はコントロールラインを先頭にし、左右に分かれて安全に停止すること。

② 青、赤旗の採用

全日本選手権は決勝ヒートのみ、ジュニア選手権は予選・決勝ヒートにおいて、周回遅れおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対して青・赤旗(青地に赤×)が示される。青・赤旗は競技長の指示によりコントロールライン上で振られ、示されたドライバーはピットインし、レースを止めなければならない。ピットインしない場合は失格(黒旗)の対象となる。

ニュートラリゼーションについて

コース上に妨害があった場合、又はドライバーやオフィシャル緊急の健康被害等があり、予選ヒートやレースを止める判断をするには至らない状況においてのみ用いられる。詳細は統一規則 14 ページ「ニュートラリゼーション」を熟読すること。

吸排気消音器のトラブルについて

走行中(公式練習・タイムトライアル・予選ヒート・決勝ヒート)の吸排気消音器の脱落は、次の通り取り扱う。

①脱落して即座に安全な場所に移動して停止した場合、及び徐行にてピット(再車検場)に移動した場合は、当該ヒート失格とする。

(公式練習を除く)

②脱落して走行し続けた場合は、レース失格とする。

レースに関する留意事項

① <ジュニア選手権> 公式練習・TT・予選・決勝ヒートにおいてスピン等で停止やコースアウトした場合、他を妨害することなく後続車両通過後、または、コース委員の指示後にレース復帰すること。なお、レースに復帰する際、カートから降車したり、自力でカートを押してエンジンを始動することは認められない。

② ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならない、かつ必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならない。これに違反した場合は当該ヒート失格となる。

③ ゴールラインはスタートラインと同じ白線とする。

④ チェッカー後は徐行の上、車検場手前のコース上でカートを停止し乗車したまま、オフィシャルによるチェックを受けてください。

⑤ ウォームアップ走行が始まってからレースがスタートするまでの間、ピットロード及びコース側(プラットフォーム)に出てはならない。

⑥ ピット作業及びピットサインは、コントロールタワーより 1 コーナー側と最終コーナー側立ち入り禁止区域手前までで行うこと。ピットサインはガードレールとコンクリートウォールの間で行うこと。

⑦ レース中、リタイヤされた方も必ず車検を受けること。

車両の回収

停止車両の回収は、停止したドライバーの登録ピットクルーが行なって下さい。

放送およびオフィシャルの合図の後、速やかに車両の回収をお願いします。

点火装置に関する事項

- ① 技術委員長は、各車両に対し、点火装置の作動確認用測定器の装着を指示する場合がある。
当該指示のあった場合は測定器の装着指示に従わねばならず、本件に関する抗議は認められない。
- ② 技術委員長は競技会審査委員会の指示に基づき、エントラントに対し当該車両の点火装置を技術委員長の指定する同一型式の他のものに交換させる必要がある。当該指示のあった場合は、交換作業に従わねばならず、本件に関する抗議は認められない。

その他

- ① ピットエリアおよびパドック内での火気および高熱を発するもの(溶接機、サンダー等)は指定された作業エリアで使用する。
- ② 電光掲示板の表示及び、レースアナウンスはサービスの一環として表示しているものであり、暫定又は、正式発表との食い違いがあっても、全て事務局より発表される結果が優先される。また、残り周回数は電光掲示板に表示される。
- ③ レース進行の基準となる時間は、公式時計に従う。公式時計はコントロールタワー２Fに設置する。

※図①

